

# 総合埠頭株式会社

# 繁忙期における請求書作成等のノンコア業務は、時間外勤務で対応している 業務の自動化により柔軟な働き方とコア業務に集中できる職場環境を実現したい

## 総合埠頭株式会社 実証結果【1/4】

### 企業概要

- 企業名  
総合埠頭株式会社（愛知県豊橋市）
- 社長  
広浜 全洋
- 概要
  - 完成自動車及び石膏や飼料などの原料、バイオマス燃料の陸揚げを行っている
  - 自動車においては三河港の輸入取扱台数の約40%を取り扱っている
  - その他、通関業、海運代理店業を行っている

### デジタル化推進の背景

- 出荷、車両の移動オーダーにおいて、受領した明細情報の加工や、システム内での処理、Excelデータとの突合、印刷などが、煩雑な処理フローとなっている
- 請求書作成業務では、印刷、回覧、押印といったプロセスを自動化したいと考えている



### 導入ツール



- 業務整理、可視化ツールである「flowM（フローム）」を活用することで、業務をしながら自動で操作の記録ができる



- ツール提供業者がシナリオ作成するため、専任担当者不要のRPA
- 移動オーダー対応及び請求書作成の自動化を行う

# 業務を棚卸して、RPA化する対象業務の洗い出しおよび作業手順の分析を行い、ヤード図面作成プロセスの自動化を実現した

## 総合埠頭株式会社 実証結果【2/4】

### モデル実証を通じて解決を目指した課題

#### 定型業務の自動化

- 柔軟な働き方の実現とコアな業務に集中できる職場環境の実現および有給休暇取得可能日の拡大のため、定時以降にこなす必要がある、ノンコア業務を自動化する

### 課題解決に向けた取組内容

#### 対象業務の洗い出し・分析および自動化

- RPA化に適した業務の洗い出しおよびflowMによる分析
- 本船入港時のヤード図面の作成のRPA化（自動化）
  - ①Excelのデータをもとに当該レーンを台数分塗りつぶす
  - ②各ロットの台数及び使用レーン数を記入し、印刷タイトルに船名・到着日・台数を入力し印刷

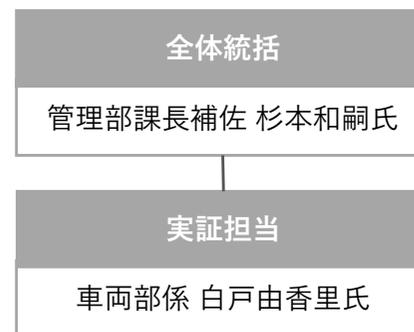
# 外部の協力も得ながら、RPAによる自動化が期待通りに実現できたとともに、属人化された業務を一般化できることも確認できた

## 総合埠頭株式会社 実証結果【3/4】

### 実証時に感じた壁および克服のためのアクション

- 自動化したいことの言語化、システムに落とし込めるレベルでの詳細な流れの説明、どんなルール付けをすれば自動化が出来るのかの把握が難しかった  
⇒ 担当していただいたSEの理解力とレスポンスの良さにも助けられ打ち合わせを繰り返しながら具体化していった
- 選定したツールで実際何がどこまでできるかイメージが難しかった  
⇒ 実際に動いているドラフトを確認しながら、できる範囲を明確にすることができた

### 実証体制



### 取組の成果

- 普段30分以上かけて作成するデータを5分程度で作成できるようになった。月に平均5-6回発生する作業なので、延べ時間にすると下記の通りの成果があった  
 $25分 \times 5.5回/月 \times 12か月 = 27.5時間/年$  の工数削減
- (RPAシナリオ作成に時間はかかるが) 属人化されている業務についても丁寧に棚卸することで業務プロセスを明確化した上で自動化できることが認識できた

# 今後とも自動化を順次推進し、ノンコア業務の自動化を進めていきたい

## 総合埠頭株式会社 実証結果【4/4】

### 今後の課題・目標

- 当社はITに明るい社員がいないが、社内での教育を進めたり、ITに明るい従業員を採用するだけでもDXは加速すると感じた
- 一方、DXが必要だと感じていても日々の業務で手いっぱいだと忙殺され、中々向き合えないと感じた。実際に今まで業務はマニュアルで時間がかかったが、逆に言えば時間をかければ確実に終わることができた。新しいシステムで手間を取られるぐらいなら、既存のシステムを使おう（現状維持をしよう）とする気持ちも理解できた
- 今後は、まず納入配図の自動作成、本船場所空け・ロット作成の自動化に取り組んでいきたい  
※細かいルールの設定等今回よりも大掛かりになるため、業務に余裕（時間）があるときに対応したい
- あわせて、他部署でもできることを試し進め、自動化できる作業は自動化していき業務の効率化を進めるとともに、属人化された作業を減らしていきたい

### （デジタル化を推進する他企業への）メッセージ

- 先の心配をするのではなく、まずはやってみれば何とかなる。今回はモデル実証という枠組みでのサポートもあり初めてのRPA化対象としてはハードルの高い基幹業務でも試しやすい環境にあった。シンプルなフローの業務等、小さな範囲から始めれば、デジタル化のハードルはそれほど高くないと思う